



「多文化共生協会」を設立

平成20年度に実施した「外国籍市民インタビュー調査」から始まって、3年の調査・検討期間を経て、「米原市多文化共生協会」が設立しました。

協会は市民有志のメンバーで構成されており、外国籍市民も同じ地域の住民として互いに認め合いながら暮らせる地域づくりを進めるために、今後、語学教室や国際交流などの事業を展開していきます。

7月24日には、協会の設立記念として、食文化の交流イベントを近江公民館で開催しました。当日

は、4か国39人の参加者が、中国料理の杏仁豆腐と水餃子、ブラジルのチヨコレイト菓子ブリガデーロとサンドイッチのバウルづくりにも挑戦。言葉は十分通じなくても、お互いに身振り手振りで教えあひながら、交流の輪が広がっていました。

「様々な国の人が集まることは地域に新たな文化が生まれるチャンス。米原市が活力ある住みよい地域であるために、お互いに理解しあつて協会の活動を盛り上げていきましょう」と、協会長の福井節男さんは参加者に声をかけました。

協会では、趣旨に賛同いただいた、会の運営をサポートしていただける会員を募集しています。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

米原市多文化共生協会 会員募集中！

	(年会費)
個人会員	1,200円
自治会・団体会員	3,000円
法人会員	10,000円
家族会員	1,800円
学生会員	600円

事務局 総務部人権政策課
☎52-6629 ☎52-4539



「イクメン養成講座」を開催

「父親であることを楽しもう」という理念のもと、育児の環境づくりやセミナー開催に取り組みされている「NPO法人ファザーリング・ジャパン」の代表理事 安藤哲也さんを講師に迎えて、7月24日に近江公民館でイクメン養成講座を開催しました。

今回の講座は、「イクメンが、家庭・地域・社会を変える」がテーマ。仕事が忙しくて育児時間が確保できないことなど、現代のパパが抱える子育ての悩みや課題を分析したうえで、父親が育児に関わることのメリットについて、安藤

さんの育児体験を交えながらお話しいただきました。

「育児を手伝うという考え方でなく、主体的に関わることが大切。そして、育児や家事を楽しみながら、地域のあり方にも目を向けていきましょう」と安藤さん。また「妻への思いやりを忘れずに、夫婦の絆を深めていくことは、ひいては子どもたちの健やかな成長につながります」と、夫婦関係が子育てに及ぼす影響についても示唆されました。

そして、講演の後には絵本ライブも行われ、お父さんのお膝の上でおとなしく抱っこされていた子どもたちも、抑揚のある楽しい読み聞かせに大はしゃぎ。

「ただ読むだけではなくて、子どもとの言葉のキャッチボールを楽しみながら読むと効果的です」との安藤さんのアドバイスに、参加されたみなさんは熱心に聞き入っていました。

来年の2月には、「ファザーリング全国フォーラムinしが」が開催される予定です。ぜひご参加ください。

お問い合わせ

総務部 人権政策課（米原庁舎）
☎52-66629 ☎52-4539